

平成17年冬の班会議（東京、学術総合センター）

計画班員 一人15分（発表10分、質疑5分）

公募班員（夏の班会議で講演した班員を除く）40人、一人12分（発表7分、質疑5分）

12月22日（木）

9：00～9：10 三品代表挨拶

9：10～10：30 A01班計画班員報告（座長 山森哲雄）

W1、梶正幸（筑波大人間総合） A01班概要報告（5分）、神経回路形成の動態を制御する新規細胞間シグナルの解析

W2、岡野栄之（慶応大医）神経分化と可塑性の転写後レベルにおける調節メカニズム

W3、野田亮（京大医）神経細胞の運命決定および動態制御における細胞外マトリックス・リモデリングの役割

W4、大隅典子（東北大医）脳の発生発達過程に於ける神経幹細胞の増殖と分化を制御する分子メカニズムの解明

W5、能瀬聡直（東大理）特異的シナプス形成過程に関与する分子の同定と動態観察

10：30～10：45 休憩

10：45～12：05 A02班計画班員報告（座長 野田亮）

W6、山森哲雄（基生研）A02班概要報告（5分）、大脳皮質領野の形成と機能に関わる分子の探索と機能解析

W7、影山龍一郎（京大ウイルス研）2時間を刻む生物時計による神経分化制御

W 8、貝淵弘三（名古屋大医）神経細胞の極性形成機構の解明

W 9、森郁恵（名古屋大理）線虫 *C. elegans* の感覚行動から探る高次神経機能の分子機構

W 10、野田昌晴（基生研）体液塩濃度恒常性制御の脳内機構

12:05～13:20 昼食

13:20～14:10 A03 班計画班員報告（座長 榊正幸）

W 11、三品昌美（東大医）A03 概要報告（5分）、純系ゲノム背景における脳システム制御の分子解析

W 12、八木健（大阪大生命）CNR/プロトカドヘリン分子群を用いた脳のシステム制御の解析

W 13、饗場篤（神戸大医）時空間特異的遺伝子発現マウスを用いた脳のシステム制御の解析

14:10～14:25 休憩

公募班員報告（一人12分）

14:25～15:25

I. 発生分化

1) 運命決定（座長 能瀬聡直）

W 14、古川 貴久 A01 大阪バイオ研・研究員 網膜視細胞発生に関わる分子の網羅的解析

W 15、佐甲 靖志 A01 大阪大学・助教授 PC12細胞における分化情報蛋白質の動態解析

W 16、西村 伊三男 A01 大阪大学・たんぱく質研究所・助手 N e c d

i n/MAGEファミリーによるニューロンの分裂終了・分化・生存の制御機構

W17、星野 幹雄 A01 京都大学・医学系研・助手 新規小脳無形成マウス *scerebellless* の分子遺伝学的解析

W18、久恒 辰博 A01 東京大学・新領域研・助教授 成体神経幹細胞の運命決命を司る海馬回路網からの入力機構を解明する分子生理学研究

15:25~16:25 (座長 大隅典子)

2) 構築・移動

W19、畠中 由美子 A01 筑波大学・人間総合・講師 DNAマイクロアレイ技術を用いた神経細胞移動を制御する分子の探索

W20、見学 美根子 A01 理化学研究所 細胞間シグナルによる中枢神経系ニューロン・グリア突起の分岐パターン制御機構

W21、白根 道子 A02 九州大学・生体研・助手 中枢神経系領域形成におけるFKBP38の機能解析

W22、原田 高幸 A02 (財) 東京都医学研究機構・研究員 MOCAによる神経細胞の形態形成および軸索伸長に関するメカニズムの解析

16:25~16:40 休憩

16:40~17:40 (座長 岡野栄之)

W23、山下 俊英 A01 千葉大学・医学系研・教授 RGMによる神経軸索誘導と選択的細胞死の分子機構

3) 機能分子

W24、木下 専 A01 京都大学・医学系研 小脳バーグマングリア終末足に集積するセプチン系細胞骨格の機能解析

W25、杉野 英彦 A01 大阪大学・助手 中枢神経細胞で高発現するレトロトランスポゾンLINE1の神経細胞での機能解明

W26、太田 訓正 A01 熊本大学・助手 BMPアンタゴニストTsuchiushiの網膜神経幹細胞における役割

II. 機能発現

1) 神経機能分子

W27、金保 安則 A01 (財) 東京都医学研究機構・研究員 リン脂質シグナル伝達による神経細胞動態制御機構の解析

17:40~19:04 (座長 上村匡)

W28、武谷 立 A01 九州大学・生体研・助手 formin相同蛋白質Fhosによる神経細胞のアクチン-微小管骨格の統合的制御

W29、小椋 利彦 A01 東北大学・加齢医学研究所・教授 細胞外シグナル伝達因子としてのIrx遺伝子群の機能解析

W30、大西 浩史 A02 群馬大学・生体調節研究所・講師 神経栄養因子シグナルを制御する新規細胞間シグナル伝達機構の解析

W31、木村 英雄 A02 国立精神・神経センター 内在性硫化水素による神経伝達調節

W32、岡戸 晴生 A02 (財) 東京都医学研究機構・研究員 カルシウム結合蛋白によるグルタミン酸受容体シグナル伝達系の制御

W33、福永 浩司 A02 東北大学・薬学研・教授 デルタ型CaMKキナーゼIIの中枢ドパミン神経可塑性における役割

W34、柿澤 昌 A02 東京大学・医学系研・助手 可視化プローブを用いた中枢神経系一酸化窒素動態の解明とシナプス可塑性

12月23日(金)

神経機能分子(続)

9:00~10:00 (座長 野田昌晴)

W35、木住野 達也 A02 長崎大学・助教授 脳高次機能に關与するエピジェネティクス調節因子の解析

W36、佐々木 雄彦 A02 秋田大学・医学部・教授 脂質代謝異常による不随意運動の発現メカニズム

W37、福田 光則 A02 独立行政法人理化学研究所・研究員 ミオシンVaカーゴ受容体(Slac2)による神経回路網形成機構の解明

W38、富永 知子 A02 生理学研究所・助教授 温度感受性チャネルTRPV4による視床下部での体温調節機構の解明

2) シナプス機能

W39、東田 陽博 A02 金沢大学・医学系研・教授 Aキナーゼアンカータンパク(AKAP)依存的シナプス後電位:終止の分子メカニズム

10:00~11:36 (座長 饗場篤)

W40、斎藤 太郎 A02 首都大学東京・助手 Cdk5/p35のシナプス活動抑制作用についての解析

W41、少作 隆子 A02 金沢大学・医学系研・助教授 シナプス伝達調節におけるホスホリパーゼCβの同期性検出器としての役割

W42、伊藤 誠二 A02 関西医科大学・医学部・教授 NMDA受容体のリン酸化に伴う神経可塑性に關与する機能分子の探索

W43、森山 芳則 A02 岡山大学・自然科学研究科・教授 シナプス小胞の形成と開口放出におけるリン脂質動態を制御する膜因子の構造と機能

W 4 4、椎名 伸之 A02 国立遺伝学研究所・助手 シナプス可塑性における局所的翻訳制御機構の解析

W 4 5、深澤 有吾 A02 生理学研究所・助手 シナプス後膜の形態と神経伝達物質受容体局在の高解像度解析

W 4 6、久保 義弘 A02 生理学研究所・教授 イオンチャネル・受容体群の「膜上直接相互作用」によるシナプス伝達の調節機構

3) 回路

W 4 7、一戸 紀孝 A02 理化学研究所・研究員 大脳辺縁新皮質の神経調節物資ネットワークの解析

1 1 : 3 6 ~ 1 1 : 5 0 休憩

1 1 : 5 0 ~ 1 3 : 0 2 (座長 八木健)

III. システム制御

1) リズム・行動

W 4 8、桑 和彦 A03 熊本大学・助教授 神経細胞初期培養系を用いた概日周期・覚醒睡眠制御機構の解析

W 4 9、石原 健 A02 九州大学・理学系・教授 神経回路における感覚情報統合と連合学習の制御に関わる分子機構の解析

W 5 0、飯野 雄一 A02 東京大学・助教授 神経可塑性を制御するシグナル伝達経路の機能解析

W 5 1、一瀬 宏 A03 東京工業大学・生命理研・教授 モノアミン関連遺伝子の特異的破壊による脳高次機能調節および代償機構の解析

W 5 2、横井 峰人 A03 京都大学・医学系研 テトラサイクリン依存性転写制御システムを利用した神経細胞のマーキング

W53、森 寿 A03 富山医科薬科大学・医学系研・教授 扁桃體特異的遺伝
子操作マウスの作成

13:02～13:10 まとめ (三品代表)

13:30～16:30 統合脳ポスターコアタイム(第1、2、5領域
計画・公募班員によるポスター発表に討議者として参加)